



{42号} 令和2年2月発行

連載

- 日々のあわ
- 寺男だより
- イム事Q&A
～法事日の決め方～
- 森嶋、僧侶になる、てよ
- みんなの法話
～初めて聞いた弱者～
- 和尚のこれええよ

コラム

○ お念仏がポコポコ

.....お知らせ.....

善称寺の 花まつり

～音楽と料理を
たのしお催し～

.....



お念仏がポコポコ

—本願寺にお参りました—

お念仏が口からこぼれている人に出会ったことがありますか？本願寺の法要に参拝すると、どこからともなくお念仏の音が聞こえてくるのです。「なんまんだーぶ、なんまんだーぶ」。1月9日に報恩講法要で参拝した時も大きな音が聞こえていました。「なんまんだーぶ、なんまんだーぶ」。けっこう衝撃的です。善称寺の法事ではまずありません。私の前に座っていたおじさんは「え？なになに？誰せ？」と音が聞こえる度に振り返って何度も確認していました。

阿弥陀仏の本願力によって信心を恵まれた者は、その喜びから自然にお念仏が口について出ると言います。全国にはそのような方がたくさんいらっしゃり、本願寺にお参りす

春彼岸合同法要のお知らせ

土曜日	21	3月	日曜日	22	3月
	10:00	14:00		10:00	14:00
	11:00	15:00		11:00	15:00
		16:00			16:00

対象者

- お墓に申込済みの方で「糸内骨のみ」以外の方
- 檀家様
- ※生前予約の方も歓迎



お子様もいます。馬蚤がしくてもみんなで温かく見守ってあげましょう。

参加希望の方は、当日までに参加人数と希望日時をお知らせください。

メールでご連絡いただいた方には、寺より返信メールをお送りいたします。1週間以内に返信がない場合、恐れ入りますが、その旨お知らせください。

TEL 073-422-0473
 FAX 073-426-0205
 MAIL info@zensho-ji.com

※件名に「春彼岸合同法要」と入れて下さい



発行元

浄土真宗本願寺派
善称寺

640・8033 和歌山市本町5丁目32
<http://zensho-ji.com>
 火曜日・偶数月第1日曜定休

つれもて

お釈迦さまは私たちに「生き方を説かれました。その説法を受け継ぐ現代のお寺にはどんな可能性があるだろうか。ずっと考えてきました。お葬式の時にしか必要とされない現代の日本仏教の姿を、揶揄して〈葬式仏教〉と言いますが、なんとも寂しいことです。お寺は、死や悲しみを象徴するばかりでなく、今を生きる私たちのための場所であってほしい。心が動き、豊かになるような様々な催しを通して、皆さんが気軽にお寺に集うきっかけづくりができれば、そんな想いで「つれもておてら」という活動を立ち上げました。第一弾は、お釈迦さまの誕生を祝う「花まつり」に合わせて、音楽と料理のどちらをも楽しめる会を開催します。住職も法話をさせていただきます。皆さん、ぜひ連れもてお寺へ来てよー!!



善称寺の 花まつり

素材そのものの持つ魅力が、食べた人の心にまで届く、滋味深い料理と菓子。和歌山の野菜や果物を中心に、スパイスやハーブを織り交せて。

幻想的なインドの古典楽器シタールの音色と、とろけるような黄金ギターの響きに、甘い歌声をのせて奏でるポップス。新しくもどこか懐かしい、童話のような歌の世界。

令和2年
4月4日(土)

詳細は別添のチラシを参照のこと

